第４０４号

三原商工会議所報

平成13年1月3日発行

商工みはら

かもめ信用金庫
理事長
大藤直也

11月24日記念式典を挙行

三原商工会議所 創立60周年

新年のごあいさつ

三原商工会議所
会頭 勝村篤博

二十一世紀の幕開けとなる二〇〇一年（平成十三年）の新春を迎え、謹んでお慶び申しあげます。

新しく始まる二十一世紀は、さまざまな分野で二〇世紀の壁が崩れ始め、明治以来の歴史的転換期ともいわれており、政治、行政の各種制度の改革をはじめ、経済・社会システム・教育改革など大きな転換を迎えております。

こうした中、二〇〇一年は地方の時代へのスタートであると思っております。未来をみつめ、確かな一歩を踏み出すため、地域や産業を支える人々が互いに知恵を出し合って、地域のビジョンを明確にして、新しい地域や産業創り、フロンティアの拡大を目指して、ともに行動していきたいと考えております。

また、本年一月六日からスタートする中央省庁の再編及び地方分権改革に伴う広域市町村合併問題については、商工会議所といたしましても、地方行政の広域化に対応して、広域経済交流をテコにした、新たな産業活力拠点の形成に向けて、積極的な役割を果たしていく必要があると考えております。

さて、わが国経済は二〇〇〇年（平成十二年）に入って、ＩＴ関連を中心とした設備投資が動き出し、政府の発表によると、景気は民需主導による緩やかな回復傾向にあるといわれておりますが、失業率や企業倒産は高水準に推移しており、さらに国の財政構造の悪化等で、先行きに対する不安感は根強く個人消費は低迷を続けており景気回復を実感できる状況にはありません。

本所が実施しております昨年九月の「景気観測調査」でも、当市内企業種の景気判断指数DI値は、マイナス三一．七で「悪い」と答えた企業が「よい」と答えた企業を大幅に上回っており、先行き十～十二月にかけての景気見通しはマイナス二四．四で、景況感は改善の傾向がみられますが、依然、水面下で不安定な状況が続いております。政府の累次にわたる景気対策も地方の中小企業は足元からの景気回復後はまだまだ実感するには至っておりません。

このため、昨年十月、全国の商工会議所は一丸となって、平成十二年度の補正予算に、中小企業の再生を重点においた予算の拡充、ＩＴ革命に対する支援等、税制面では二〇〇二年に導入が打ち出されております法人事業への外形標準課税の導入反対を強く訴えてまいりました。

なお、平成十三年度の新年度予算編成においても引き続き要望活動を続けていくことにいたしております。

つぎに、本所の今年の活動方針は、冒頭に申し上げましたとおり、活力と魅力あるまちづくりのための環境整備（中心市街地の活性化と創業支援）、中小企業のＩＴ化を促進するための支援事業の実施、循環型経済社会構築のための環境問題への取り組み、現在事業が進行しております三原バイパス・港湾整備等都市基盤の整備促進に向けて市行政と一体となって取り組んでまいりたいと存じます。

本所は、皆様方のお陰をもちまして、今年度創立六十周年を迎え、昨年十一月に記念式典を挙行致しました。これを契機に一同が、その気持ちも新たに、地域の総合経済団体として、更に機能を高めて参りますのでどうぞよろしくお願いを申し上げます。

以上、年頭にあたり所見の一端を申し述べましたが、商工会議所自らも時代に即応した体制を整え使命達成のため邁進していく所存であります。今後とも関係各位の一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げごあいさつといたします。

21世紀にはばたく三原商工会議所

創立60周年 商工共済創設30周年

記念式典・記念講演会・記念祝賀会を挙行

三原商工会議所は、昭和十五年七月創立され、今年度で創立六十周年を迎えることができました。

また昭和四十五年創設された商工共済制度も三十周年を迎えました。

それを記念するとともに、この六十周年を契機に、二十一世紀を迎える商工会議所が、新たな出発をはたせるよう、記念行事を挙行いたしました。

この模様を紹介いたします。

記念式典

司会を行った
大目木康行議員と
門田　洋子さん

◇開会の辞

六十周年記念行事実行委員会・上田隆治実行委員長（副会頭）は開会にあたり、「先人達の功績に敬意を表し、きたる二十一世紀は、世界の動向に目を向け、地域総合経済団体として、この日を契機に更なる飛躍を遂げるべく式典を挙行する。」と、開会の辞を述べました。

◇活動報告ビデオ上映

六十年間の活動を振返る一本のビデオをまとめました。

創設以来の歴代の会頭を中心に、今日までの本所の主な活動と、三原市の移り変わりについて紹介をしました。

◇式辞

勝村会頭は、「昭和十五年からの激動の中、本所は多くの難局に直面しながら自発的地域総合経済団体として、たゆまない努力をもって、常に時代の要請に応え、産業経済の発展に大きな役割を果たしてまいりました。歴代の会頭・役員・議員のご尽力と、これを支えてこられた多くの会員のご協力に対し深甚なる敬意を表しますとともに、国県市をはじめとする関係機関のご助力に対して心から御礼を申し上げます。」と感謝の意を表し、また、これからの三原市の向うべき方向について、「自然環境豊かで、産業技術の蓄積さらに、陸海空の総合結節都市として誇るべき点が多くある。しかし一方で、産業構造の転換の遅れ、地域イメージの弱さが問題点として指摘されており、本所としては、世界に開かれた地域づくりのため情報インフラの整備、個性あるまちづくりをはかり、潤いある地域づくりと次代を担う産業づくりを要に据え地方分権の進む中、産業技術力・文化・人材等の資源を活かしたまちづくりを目ざしたい」と述べました。

◇記念表彰式

本所事業活動に日頃よりご協力をいただいている方々に対し、感謝状・表彰状並びに記念品の授与を行いました。

また受賞者を代表し、本所名誉議員佐竹忠彦さんが謝辞を述べられました。

受賞者の方々は、次の通りです。

○感謝状――――――
◆顧問　四名
◆名誉議員　七名
◆まちづくり振興協議会　五名
○表彰状――――――
◆小規模企業振興委員　十六名
◆部会
副部会長　三名
分科会長　十二名
副分科会長　三十二名
◆女性部会正副部会長　四名
○感謝状――――――
◆共済制度三十周年記念表彰　百二十六名

◇閉会の辞

閉会にあたり伏見暁副会頭より、本所六十周年を迎えたお礼と、式典へご出席の方々への感謝の言葉が述べられました。

◇祝辞

アクサニチダン生命保険㈱
中国営業局局長
奥村浩二 様

広島県商工会議所連合会
副会頭
佐藤忠男 様

三原市長
山本清治 様

中国通商産業局
産業部次長
小寺　豊 様

広島県知事
藤田雄山 様

当日は、来賓の方を代表し5名の方々からご祝辞をいただきました。
いただきましたご祝辞は次頁で紹介しております。

記念講演会

徳川三代と人づくり

講師　ジェームス三木先生

▲松田副会頭よりお礼のあいさつ

記念講演会では、ジェームス三木先生を招き、「徳川三代と人づくり」というタイトルのもと、ご講演いただきました。

「現代の日本人の多くは、本当の意味で、人生を楽しむことができていない人々が多い。高学歴・大企業への就職が、豊かな人生という教えをしてきた親たちは、本当の意味での豊かな人生のおくり方を伝えていく必要があるのではないか」と人づくりの基本に振り返り、豊かな文化を築いていける人達の育成について、ユーモアのある中、厳しい目でのご講演をいただきました。

記念祝賀会

記念式典・講演会に引き続き、会場を三原グランドパレスに移し、関係者約二五〇名が出席のもと、記念祝賀会を催し、六十周年を祝いました。

藤間勘寿貴・勘寿映さんに祝儀舞をご披露いただき、勝村会頭の挨拶、溝手顕正参議院議員、佐藤公治衆議院議員、宮原幸治市議会議員よりご祝辞をいただき、田中信一県議会議員の乾杯で開宴。三原の文化やっさ踊りを披露し平田修己県議会議員の万歳三唱、上田実行委員長のお礼の言葉で締めくくりました。

祝辞

十一月二十四日挙行した、記念式典において、ご来賓の方々を代表いただき、五名の方よりご祝辞をいただきましたので紹介させていただきます。

広島県
藤田雄山様

三原商工会議所創立六十周年を心からお慶び申し上げます。

三原商工会議所におかれましては、昭和十五年、地域の総合経済団体として創立以来、商工業の振興を始め多様な活動を通じて地域経済の発展に多大なるご貢献をいただきここにめでたく六十周年を迎えられましたことは、誠によろこばしいかぎりでございます。

これも一重に歴代の会頭をはじめ、役職員、会員の皆様のご尽力の賜物であり、深く敬意を表します。

また、先ほど表彰の栄によくされました皆様の多年に渡るご労苦に対し深く敬意を表しますとともに心よりお慶びを申し上げます。

ご高尚の通り、ＩＴ革命などによる経済のボーダレス化や少子高齢化の進展等により、時代は大きな変革期を迎えており、社会経済全般にわたって新しい時代に対応するための改革が求められております。

本県におきましては、こうした変革期を新たな飛躍への好機ととらえ行財政改革や教育改革など、時代の要請に応えた改革をいち早く実行するとともに、活力ある産業の新生や雇用機会の確保など県民の安心な暮らしを守るための策を最重点に取組み二十一世紀の新たな発展を目ざしたいと考えております。

このような策の推進にあたりましては、地域に根ざした経済団体であります皆様のより一層のご支援とご協力が必要であり、その活動に大きな期待をしているところでございます。

どうか、この六十周年を契機として、更に研鑽をかさねられ、商工業の振興はもとより地域社会の発展に一層のご尽力を賜りますようお願いを申し上げます。

終りに、三原商工会議所の今後益々のご発展と皆々様の益々のご健勝とご活躍を祈念致しまして、簡単措辞ではございますけれどもお祝いの言葉にさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございました。

中国通商産業局長のメッセージを紹介

中国通商産業局
産業部次長
小寺豊様

本日、ここに三原商工会議所が創立六十周年を迎えられ、記念式典がかくも盛大に挙行されますことを、心からお慶び申し上げます。

三原商工会議所におかれましては、昭和十五年に設立されて以来、半世紀以上に亘る時代の変遷の中、地域の総合経済団体として幾多の試練を克服し、地域経済の発展に常に先導的役割を果たして来られました。

また、昨今では、時代に対応した商工会議所の体制の見直しを行う「運営機構改革特別委員会」の設置や三原市中心市街地の活性化計画の策定、新規事業創出支援相談窓口の設置など、次々と時宜にあった事業を実施されるなど、そのスピードある活動はほかの会議所の模範となるものであります。

ここに会議所の使命を全うしてこられました歴代会頭並びに役職員の方々に対し深く敬意を表する次第であります。

さて、我が国の景気は、厳しい状況をなお脱しておりませんが、全体としては穏やかな改善が続いております。

通商産業局としましては引き続きこの自律的回復・発展の動きを確固たるものとするため、ＩＴ革命の推進、環境問題への対応、高齢化対応、都市基盤整備の日本新生プラン４分野に予算を重点投入するとともに、経済構造改革を加速的に推進する観点から、技術開発、中小企業対策等の重要政策分野等に実効ある施策を展開することとしております。

特に「ＩＴ革命」については、経済活動のデジタル化とインターネット活用の進展等により、経済活動全般の効率化や多様な新規産業の創出などかつての産業革命に匹敵しうる経済社会構造の転換が急速かつ世界規模で生じてきています。

時代はまさに新世紀を迎えようとしており、この波に乗り遅れないことが極めて重要な課題となっております。

幸い、三原商工会議所はＩＴへの取組が早く、ｉモードによる市内商店街情報の提供など全国的にも先導的な事業を開始されており、誠に心強い次第であります。

今後とも、地域のＩＴ化センターとして活動いただきたいと期待しております。

通商産業省は来年一月二十一世紀の大競争時代に対応した政策立案に貢献する機関として国家四機能の一つである「国富の増大」を最重要課題として経済産業省へ移行することとなっており、中国通商産業局も地域経済の振興を支援する機関としての機能を一層強化して中国経済産業局に生まれ変わります。

今後とも、地域に役立つ経済産業局として、全局を挙げて取り組んでまいりますので皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

終わりになりましたが、三原商工会議所の益々の御発展並びに本日御列席の皆様方の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

三原市長
山本清治様

本日ここに、三原商工会議所創立六十周年記念式典を挙行されるにあたりお祝いのご挨拶を申し上げます。

三原商工会議所は、三原市制施行間も無い昭和十五年に地域総合経済団体として経済界の先覚者の方々によって創設されました。

爾来六十年の永きにわたり、我が国の幾多経済界の変遷に対処しつつ、本市商工業の中心的指導機関として数々の苦難を屈されながら、確実に本市経済の振興に取組まれ順調な成長発展をみながら今日を迎えられました。

更には、昭和四十五年に、会員事業所の経営の安定と福祉の増進を目的に創設された、会員共済制度につきましても、発足以来三十周年を迎えられました。

このことは、一重に商工会議所の使命を成し遂げられました歴代会頭及び会員、役職員の方々のたえざるご尽瘁の賜物であり、ここに多年の皆様のご苦労に対し、忠臣より敬意を表しますとともに、厚くお礼を申し上げる次第でございます。

昭和から平成へと時代が変わり、私達を取り巻く社会経済情勢は激動し、二十一世紀を目前にひかえ、大きな転機を迎えております。国際化、高度情報化、技術革新、更には高齢社会の到来などの潮流の中で、経済はソフト化、サービス化が進み経済界も新たな時代に向けて、多面で深刻な問題に対処して参らなければならない重大な時期を迎えつつあると推察されます。

商工会議所の役割も今後ますます重くその使命をまっとうされますことを心からご期待申し上げる次第でございます。

三原市におきましても分権時代にふさわしい町行政体勢のあり方を模索しつつ、本市特性を活かし個性と活力に満ち、豊かさがより実感できる市民生活の実現を図ることが大きな課題となっております。

今後さらに、市と商工会議所が連携を密にし、共に手を携え、より積極的に二十一世紀の三原のまちづくりに邁進して参りますので、会頭をはじめ役職員各位、また、ご来臨の皆様方の格別のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

また、この良き日にあたり、多年にわたり、商工業発展ご尽力頂いた方々が表彰を受けられました。そのご栄誉を心からご祝福申し上げますとともに、これを契機に更に一層のご活躍を祈念するものでございます。

終りに臨み三原商工会議所の限りないご発展と、関係各位のご健勝とご活躍を心から祈念し祝辞といたします。

おめでとうございました。

日商稲葉会頭のメッセージを紹介

代読　広島県商工会議所連合会副会頭
（尾道商工会議所　会頭）
佐藤忠男様

三原商工会議所六十周年記念、誠におめでとうございます。

日本商工会議所　稲葉会頭よりメッセージが届いておりますので代読させていただきます。

三原商工会議所
会　頭
勝村篤博殿

三原商工会議所創立六十周年記念式典のご盛会を心からお祝い申し上げます。

二十一世紀を目前に控え、我が国経済社会が大きな転換期に直面している今日、商工会議所に対する期待と役割はますます大きくなってきております。

我々は、地域社会のリーダーとしてその使命を全うし、地域経済の新たな活路を拓いていく必要があり、そのためには時代の要請に的確に対応し、スピーディーに、かつ、積極的に事業を推進していかなければなりません。

三原商工会議所におかれましては、この記念すべき年を新たな出発点として、勝村会頭を中心に皆様方が一丸となって、従来にも増して活発な事業活動を展開されますよう心からご期待申し上げます。

終わりに、本日表彰の栄に浴されました各位に対し、心からお祝いを申し上げますとともに、三原商工会議所の今後ますますのご発展と、ご参会の皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

日本商工会議所
会　頭
稲葉興作

●本所女性部会は、式典会場入口に、お茶席を設置しました。

●式典会場入口では、正副会頭がお客様の出迎をしました。

●式典には、近隣の町長、また商工会の会長もご臨席くださいました。

アクサニチダン生命保険㈱
中国営業局局長
奥村浩二様

まずもって、本日は、創立六十周年心よりお慶び申し上げます。

これまでの商工会議所の強力なリーダーシップと会員事業所の積極的なご参加が、この六十周年の歴史を作ったのだなと感慨を覚えました。今後益々のご発展をお祈り申し上げたいと思います。

また、本日は、加えて共済制度創立三十周年ということで、創立時から係わりをもたさせて頂いておりますアクサニチダン生命と致しましてはありがたく思い、またお慶びを申し上げる次第でございます。

この会員共済制度は、ご存じの通り、会員事業所の福利厚生、そして、経営者の方々が安心して事業継承できるような受け皿として発展してきたわけでございます。

この厳しい時代においても順調に発展の途をたどっている次第でございます。

しかし、私ども、生命保険業界は、現在大変厳しい状況を迎えていて、特に今年度におきましては、中堅生保三社が破綻するという大変厳しい事態とになっております。

この低金利の中で、各社とも逆ザヤという構造を抱え、これを埋めるがためにリストラによる経費削減の差益などで埋めていますが、含み資産なども当てているため、まさに体力勝負になっております。

これが、ご加入者の方に対し不安をよんでいるという状況であります。

私どもの会社は、全国で五二六ある商工会議所のうち五二三の共済制度を受託させて頂いており、もしも、破綻してしまったら全国の商工会議所会員の皆様にご迷惑がかかり大変なことになります。

そこで、今年四月一日より、世界六十カ国で営業展開しております、フランスに本拠を持つアクサグループに持株会社方式で傘下入りをしました。

今年度におきましては、二千億円の資本注入を頂き、過去の劣化部分を清算し、再スタートをしたわけです。

これを持ちましてこのような不安は一掃されたわけで、特に格付け機関から大変高い評価を頂いております。国内格付け会社R&Iからは、「AA－」という評価を、そして、世界の格付け会社S&P社からは、「A＋」いう評価を頂きました。この格付けは、国内生保の中でもトップクラスの評価となっています。会員の皆様方には、これで商工会議所共済は安心できる制度になったとご認識頂きたいと思います。

そして、アクサは、グローバルに六十兆円の資産を運用しています。この運用力をもってすれば、今後益々商工会議所共済制度は有利になるということを付け加えさせていただきたいと思います。

共済制度は、これからも、会員事業所の発展の一助として今後益々重要な使命をを負っています。私どもの会社も、そのパートナーの一員として、今後、ますます努力してまいります。

現地では、支社長、所長、推進員が、皆様方の所へお邪魔させていただくことになるかとは思いますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

最後に、商工会議所様の六十周年を経まして二十一世紀に向い、今後益々発展、そして共済制度充実することを願いまして私の祝辞とさせていただきます。

本日はおめでとうございます。

三原商工会議所 60周年 あゆみ

THE MIHARA CHAMBER of COMMERCE and INDUSTRY HISTORY

明治四十四年、当三原市（当時三原町）では、各協同組合、会社の代表者らが集まり商工会を設立しました。

それから三十年の時が経過した昭和十五年三月、時の商工大臣　藤原銀次郎氏に対し、商工会議所の設置認可の嘆願を行いました。

「深ク文化ノ進展ニ留意シ、絶ヘズ智識ノ修養ニ努メ、産業振興ノ　中心機関トシテ協同共励、相互ノ連繋統制ヲ保チ、商工業ノ隆昌ヲ図ルト同時ニ本市発展ニ貢献スル目的ヲ持ッテ、明治四十四年三原商工会ヲ設立シタルニ創リ…

現在会員八百名ヲ超ヘ、愈々ソノ活動を期待スルモノ多キヲ認メ意キョウノ如ク会議所設立ヲ希望スル…」

この願いが受け入れられ、昭和十五年六月商工業者の願いであった三原商工会議所が産声をあげました。

しかし、設立された商工会議所は、戦時統制令により、その組織を一度解体され、広島県商工経済会三原支部として再編され、その活動を続けました。

終戦後、昭和二十一年に、社団法人三原商工会議所として再出発。

昭和二十九年、商工会議所法が制定され、現在の商工会議所としての組織が整えられ、ようやくその活動は本格化しました。

戦後の日本は、焼け野原の中から復興を目ざし、国民が一体となり、たゆまない努力を続け飛躍的な発展を遂げました。

設立当当初、現在の本町に会館を有していた本所は、昭和四十四年、三原地区内の商工業者の方々が、永年に亘り待望して止まなかった、新商工会館（現会館）を竣工し、当地区の商工業の殿堂としてその価値を高めてきました。

その後、商工会議所は、商工業の発展は勿論、地域の総合的な発展を目ざし活動を進めてきました。

昭和五十七年五月には「新空港問題対策特別委員会」を設置し、新広島空港建設予定地として本郷町用倉地区を決議して、関係機関に対して、誘致活動を行うとともに、臨空都市としての三原のまちづくりについて調査研究の実施。

また、平成三年には、部会の再編を行い、会員の皆さんの意見集約機関として機能を高めました。

さらには、平成七年四月、新たなシンボル「広島県立保健福祉短期大学」の開学に際しても、かねてより市内への大学誘致を願い、署名・要望などの活動を展開してきました。

そして、現在、更にその機能を高め、地域総合経済団体としての立場を認識し、地域全体の発展に寄与するため、広域問題、環境問題、まちづくり、情報化対策事業等、幅広い活動を展開しています。

商工みはら

昭和

15年
★三原商工会議所設立（本町）会員数456名、初代会頭大藤直平氏就任
・三原工業学校（現在の如水館高等学校）開校

16年
★広島県商業報国会三原支部結成
・市内全域に町内会設置

17年
・糸崎土地区画整理事業開始

18年
★商工経済会法公布により、従来の商工会議所は廃止、経済会法に準拠した広島県商工経済会三原支部に改組し発足
・広島県立三原中学校（現在の三原高等学校）開校
・三菱重工業㈱三原車輌製作所（現在の紙・印刷機械事業部）創業
・城町土地区画整理事業開始

19年
・三原信用組合（現在のかもめ信用金庫）創立

20年
・広島県商業報国会三原支部解散

21年
★広島県商工経済会解体し、社団法人「三原商工会議所」改組発足
・三原商栄会創立

22年
・公選第1回市長選挙が行なわれる
・三原経営者協議会設置

23年
★本所2代会頭吉永龍次郎氏就任

25年
★三原中小企業相談所設置
・三原観光協会設置
・和田沖干拓工事着工

29年
★新商工会議所法公布に基づき、三原商工会議所組織変更の認可、特殊法人「三原商工会議所」に改組発足

33年
★本所創立15周年記念式典を挙行
・三原市立東高等学校（現在の三原東高等学校）開校

35年
★商工会法の施行に伴い、小規模企業振興のための経営改善普及事業を始める
・山陽本線三原〜岡山間電化完成
・古浜土地区画整理事業開始

36年
・山陽本線三原〜広島間電化完成

37年
★本所創立25周年記念式典を挙行
・備後工業整備特別地域に指定される

39年

40年
★備後工業整備特別地域商工会議所会頭会議発足

初代　大藤直平会頭

旧商工会議所会館

第2代　吉永龍次郎会頭

平成

元年
★本所4代会頭竹本匡氏就任
・山陽自動車道本郷インターチェンジ設置決定
・三原バイパス工事着工
・三原市まちづくり総合計画2001策定

2年
★本所創立50周年記念式典を挙行

第4代　竹本　匡会頭

42年
・皆実土地区画整理事業開始
・江南土地区画整理事業開始

44年
・集中豪雨により死者20名

45年
★三原商工会館落成（皆実4丁目8番1号）
★本所会員共済制度創設
・やっさ踊りが日本万国博覧会に出演
・呉線の全線電化完成

47年
・第1回三原夏まつり開催（従来の春まつり、花火大会、やっさ踊り大会を統合）
・三原市三原港湾ビル完成

48年
★小企業等経営改善資金融資制度の創設
・宗郷土地区画整理事業開始

49年
★本所創立35周年記念式典を挙行
・三原大橋完成

50年
・山陽新幹線岡山〜博多間開通

51年
・第1回三原やっさ祭り開催
・宮浦土地区画整理事業開始

52年
・三原バイパス建設促進期成同盟会結成

54年
★小規模企業振興委員制度を創設

55年
★倒産防止特別相談室を開設

56年
★本所3代会頭佐藤光男氏就任
・ペアシティ三原オープン

57年
・新広島空港を本郷用倉地区に誘致運動行なう

58年
・小原工業団地造成事業（第1期工事）開始
・新広島空港、本郷用倉地区に決定

60年
・山陽自動車道福山西〜河内間路線発表

62年
・宮浦商工振興会設立

63年
・三原地域商業近代化地域計画（基本計画）策定
・小原工業団地に企業を誘致・4企業が決定

第3代　佐藤光男会頭

新会館落成（現会館）

3年
★本所5代会頭大藤直也氏就任
★部会再編成

4年
★「商工共済うきしろ」スタート
・㈶三原シティプラザ振興財団設立
・第1回さつき祭り開催

5年
・広島県立保健福祉短期大学誘致決定
・JR三原駅舎、浮城広場、隆景広場、うきしろロビー完成
・山陽自動車道福山西〜河内間開通

6年
・広島空港開港
★本所チェンバーズカード事業導入
・広島県立保健福祉短期大学を支える会設立

7年
・三原郷心会設立
・三原やっさ祭り20周年記念事業「やっさ太鼓」創設
・三原工業高等学校と緑ヶ丘女子高等学校が統合され、如水館高等学校開校

8年
・三原バイパス第9トンネル貫通（708m西宮トンネル）
★本所6代会頭勝村篤博氏就任
・広島県立保健福祉短期大学開学
・リバーサイド地域振興会設立

9年
・県道尾道三原線太郎谷バイパス完成
★三原駅前大通り改装、愛称「マリンロード」完成
★本所女性部会設立
・三原西部工業団地（惣定地区）完成
・サン・シープラザ（三原市総合福祉健康センター）オープン

10年
★本所ホームページの開設（http://www.mhr-cci.or.jp）
・臨空東部広域経済交流協議会設立

11年
・三原バイパス第8トンネル貫通（579m八坂トンネル）
★新事業支援相談室設置
・西瀬戸自動車道（しまなみ海道）開通

12年
・三原バイパス一部供用開始（恵下谷ランプー頼兼ランプ2.3㎞）
・三原バイパス第6トンネル貫通（435m中之町トンネル）
★三原市中心市街地活性化基本計画の策定（三原市）、TMO認定（商工会議所）
・広島県立保健福祉大学開学（広島県立保健福祉短期大学が4年制大学に移行）
・三原バイパス第7トンネル貫通（515m駒ヶ原トンネル）
★本所創立60周年記念式典を挙行

第6代　勝村篤博会頭

第5代　大藤直也会頭